

文：小川 康成

こんにちは、暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか？
オリンピックも始まり、連日の熱戦を視聴して寝不足の方もいらっしゃるのでしょうか。
年々暑さが増してきておりますので体調を崩さないようにご自愛ください。

この猛暑は地球温暖化の影響であるとされておりますが、温暖化の原因の一つにCO₂ (二酸化炭素)が増え続けている事が上げられます。製造過程、処分過程で二酸化炭素を排出する「紙」を減らすという流れのペーパーレスについて考えてみたいと思います。



紙の歴史は 1,900 年以上

紙の起源は中国の後漢時代（西暦 105 年頃）と言われており、1900 年前から存在します。大河ドラマ「光る君へ」の中で清少納言が執筆した「枕草紙」は 996 年頃なので 1,000 年以上前になります。紙は長い人類の文化を後世に伝えてきた大切な存在と言えます。

紙の発明以前にも古代エジプトではパピルス（植物）の茎を加工し、そこに文字を書き記したとされ、英語での紙「paper（ペーパー）」の起源はこのパピルス(papyrus)から来ています。対するデジタルの歴史は1970年頃から磁気テープの普及で始まっており、わずか50年程度の歴史です。 デジタル媒体が何年続くのかは未知数と言えるかもしれません。

Co2 の削減効果はどのくらいなのか？

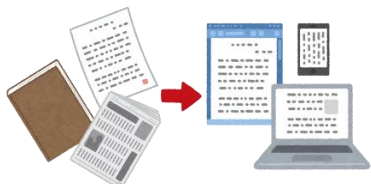
様々な試算がありますが、Co₂ 削減効果としては紙を使用しない事で、Co₂ を吸収する森林の保護、紙の処分に係る焼却など排出される Co₂ 削減です。1万枚の紙を処分するには13.6KgのCo₂が排出され、紙の削減はCo₂削減に効果が有りそうです。しかし1万枚の紙を電子データ化して使用するための電力消費はサーバー、パソコン、モニターなどで13.1KgのCo₂を排出するそうで、東京電力の試算 差し引きでは0.5kgのCo₂削減と効果としては僅かとも言えそうです。とはいえ地球温暖化対策は全ての人が意識して行わなければ効果が出にくいのでできることから始める必要はあるでしょう。

ただ、現状で企業が声高にペーパーレスを進める背景は、コスト削減と業務効率面の方が大きいように感じますし、電気機器メーカーと関連産業の販売推進もあるのでしょうか。

保険にかかわるペーパーレスの状況

保険契約においては紙の証券や約款、事故時の関連書類など紙を大量に使用してきましたが、保険もペーパーレスの波が来ております。お客様にわかるところでは保険証券のペーパーレス化として、お客様専用ページをPCや携帯電話を使用してご契約内容を確認できるシステムへの移行となっています。保険証券に同封されていた、読めない位細かい文字で書かれた保険の内容が記載された「約款」も今や保険会社のホームページなどで確認いただく事が標準になりました。

Web 上でご確認いただく事で、紙のような紛失リスクやいつでもどこでも契約内容を確認できるメリットや災害時にもお客様専用ページを使用してスムーズに連絡が取れる等、ペーパーレスならではの効果もありますので上手に活用してゆくのが一番なのでしょう。



〒489-0976 瀬戸市井戸金町 422-1
電話(0561) 83-8111 FAX(0561) 83-8131
ホームページ <http://istream-web.jp>
E-Mail istream@istream-web.jp



メンバー 近況報告

暑さに負けず！

岩瀬 英之

今年も暑さに心が折れそうになりながらテニスの試合に出てきました。今回は、室内ナイターの試合で試合開始が16時からと少しマシかなと思っていましたが、途中で雨が降ったこともあり湿気が薄く、外でやるより暑いのではと思うくらいの環境でした。普段あまり出ないテニスクラブの試合でしたが、なんだかんだ知っている人も多くレベルも高かったです。予選で1敗して2位通過で本戦トーナメントに進みました。準決勝で負けてしまい、3位決定戦をやることになりました。相手は予選で負けた相手でしたが、相手が暑さと疲れもあり今度は勝つことができなんとか3位になることができました。

日中は暑すぎてなかなか運動できる環境ではないですが、なんとか練習量を減らさないように頑張りたいです。去年から始めたゴルフも気が付けばもう一年経ってしまいました。1年で100切るというのを目標にしていたのですが、前回は101で切ることができませんでした。課題はパターなので、家でも練習できるようパターマットも買ってしまいました。テニスもゴルフも暑さに負けずに練習していきたいと思います。



夏の京都

古川 友架

先月初めて夏の京都に行ってきました。京都は好きで、春の花見、初夏の新緑、秋の紅葉と何度も行ったことはあるのですが、夏の京都は暑いので行こうとも思っていませんでした。夫が福知山に行くとの事で、せっかくなので暑さ覚悟で娘と京都で遊ぼうとなりました。じめじめと蒸し暑かったのですが、曇りだったので涼みながら楽しめました。祇園祭も近く、国語の教科書にも出てきた「因幡の白兔」で知られる大国主神も祀られているというので、八坂神社に行きました。大国主神の像にはふーんで終わりましたが…(笑)美御前社の前から湧き出る神水、美容水で手や顔につけました。美人になるよと言うと、娘は「顔が変わったらやだ」と勘違いしていたのでかわいかったです。二年坂で娘が好きそうな“ちりめんの起き上がりこぼし”制作の体験もしました。



翌日は風鈴祭りをやっているとのことで平安神宮へ行きました。当時の平安京の正庁、朝堂院が約8分の5の規模で再現されているそうで、当時はもっと大きかったと思うと、壮大さに感銘を受けました。庭も広大で、風鈴の音色が涼し気でもとてもよかったです。風鈴の種類によって音色も変わるのも見所です。清水寺など他でも風鈴祭りがやっているのので、次回夏に行く時は行ってみたいです。

夏祭りの季節

佐々 夏海

7月後半から各地で夏祭りが開催されるようになりましたね。私も先日、「鯛まつり」を見に南知多まで行ってきました。南知多の豊浜地区で行われる「豊浜鯛まつり」は竹や木材で作った大きな鯛が街を練り歩き海の安全と豊漁を祈る祭りです。私が行った日には鯛の練り歩きが行われない日でしたが、漁港には鯛の神輿がいくつも置いてあり、その大きさに驚きました。実際に鯛神輿が動く姿は見られませんが、街を練り歩く際は鯛が水中を泳いでいるかのように尾をふり、ひれを立たせながら担ぐそうです。これだけの大きさの鯛が動くのは凄い迫力だろうなと思いました。



夜になると豊浜漁港から花火が上がります。今年初めての打ち上げ花火だったので楽しみにしていました。港から花火が上がるので周りにさえぎる建物がなく、とても近くで綺麗に花火が見えました。8月もいろいろな場所でお祭りが開催されると思いますが、祭会場にいただけで気分が上がるので今年の夏もお祭や花火などできるだけ満喫して夏を楽しみたいと思います。

